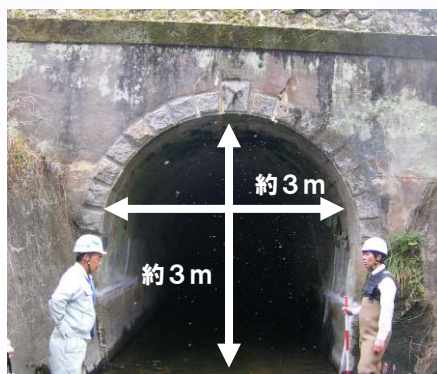


改修の必要性

- ・現在の安永川は、一般的な掘り込み河道の区間と、トンネル区間の両方がありますが、トンネル区間では、幅と高さがそれぞれ約3mで、1秒間に約10m³（立方メートル）の水が流れ、約2年に1回の確率で降る雨を流すことができます。
- ・しかし、それ以上の量の雨が降った場合には、安永川の流下能力を上回った水は流域に氾濫することとなります。これを防ぐには流下能力の向上、つまりより大きな断面を整備して、より多くの洪水を流下させる必要があります。
- ・加えて、流域内で都市化が進んだことにより、昔に比べて雨が溜まったり浸み込んだりすることが少なくなり、低地や川へ流れ込む水の量が増えたことも水害の原因の1つとなっています。



現況流下能力 $Q=10\text{m}^3/\text{s}$ 程度

流下能力の向上が不可欠